

第 1 号 議 案

委員の承認（案）

23 期 委員名簿（新任）

氏 名	推 薦 団 体*
上田 昌子	NPO法人すぎなみ栄養と食の会
小野 美和子	民生児童委員協議会
香取 真実	
熊谷 伸成	
桑山 務	東京税理士会荻窪支部
東海林 明	
杉原 幸一郎	
西村 淳一	一般社団法人すぎなみ文化協会
堀川 秀夫	
若井 幸子	

21 期・22 期 委員名簿（再任）

氏 名	推 薦 団 体*
伊藤 佳江	東京税理士会荻窪支部
惠羅 博	町 会
大矢 正男	町 会
影山 健次	宮前二丁目防災会
杉浦 和子	
染谷 貞夫	
高橋 昭浩	
船津 まさ子	町 会
本田 良夫	一般社団法人すぎなみ文化協会
松崎 茂一郎	宮前二丁目防災会
茂木 愛一郎	町 会
横尾 耕一	町 会
萬 靖義	

*：空欄は推薦団体なし。

第 2 号 議 案

令和 2 年度 事業報告

① 概 要

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症に振り回された異例の 1 年となりました。荻窪地域区民センター協議会（以下、協議会）の活動の拠点である区民センターが令和 2 年 3 月 9 日から 5 月 27 日まで休館となり、その間、区民センターを会場とした活動が全くできませんでした。5 月に予定した定期総会は、集会形式の開催を断念し前例のない書面による議決を取る方式（書面表決）で行わざるを得ませんでした。区民センターを活動の場とした各部の活動は 6 月 16 日から再開し企画の検討を進めましたが、「広報すぎなみ」による企画の告知の関係で講座等を 9 月から再開することにし、4 月から 8 月に予定していた企画のすべてを中止あるいは延期しました。

国の緊急事態宣言は、4 月 7 日に発出され 5 月 25 日に解除されましたが、感染者の急増や医療体制の逼迫を受けて令和 3 年 1 月 8 日に再発出されました。緊急事態宣言が解除された期間も含めて、密を避ける「新しい生活様式」が求められる「With コロナ時代」となりました。協議会活動の根幹である人と人との出会いとふれ合いが制限される状況下で、協議会は新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを遵守しながら可能な活動は続けるという基本方針を採用しましたが、前年度に比較してかなり活動は制限されました。特に、不特定多数が集まる企画への影響が大きく、1 日間に短縮した「おぎくぼセンター祭」しか実施できませんでした。以下、活動状況を前年度との比較を中心にして部単位で要約します。

「総務部」

前年度とほぼ同程度の活動ができました。

12 月 15 日に予定していた「そなエリア」の館外研修は、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加している状況を考慮して中止しました。一方、館内研修は 4 回実施しました（前年度 2 回）。

前年度から始まった食を介した地域作りを目指した地域交流会「こみゆに亭」は食事の提供は避けるべきと判断して中止しました。その代わりに、市販の飲み物を用いた喫茶バージョンの「こみゆに亭カフェ」を行いました。

「地域交流部」

当初6月に予定していた「第42回おぎくぼセンター祭」は11月に延期し、例年2日間の開催を1日間に短縮して開催しました。コロナ下であったため出店数は昨年度より少ないものの、来場者数は1,320名と昨年度の1日当たりの来場者1,115名を上回りました。コロナ下であってもこの種の企画のニーズが高いことが分かりました。

不特定多数が参加する企画の性質上、例年実施している下記の企画は中止しました。

「第28回本天召集会所まつり」（例年10月開催）はおぎくぼセンター祭を11月に変更したため実施できませんでした。「地域ふれあいマチネコンサート」（例年11月開催）は母体の荻窪音楽祭がオンライン形式となり参加を中止しました。「第42回アート展」（例年2月開催）は準備を進めましたが緊急事態宣言が発出され中止しました。

「事業企画部」

新型コロナウイルス感染症対策をとりながら可能な限り企画を行いました。前年度と比較して企画数17（前年度25）、累計参加者数860（前年度2,447）と量的には減少しました。企画数の減少は、実質的な活動期間が9月からの7か月と短かったことが最大の要因だと思います。参加者数の減少は、企画数の減少に加えて密を避けるために個々の定員を昨年に比較して少なくしたことと、「さいえんす縁日」等の参加者数が多い企画の中止が要因として挙げられます。

昨年度好評だった「国会見学」、「井之頭池の生き物たち」などの野外活動が実施できなかったのは残念ですが、「日フィル出張コンサート」や東京文化会館と共催した「はじめてクラシック～オペラへの誘い～」など新しい企画に取り組みました。

「広報部」

隔月発行の広報紙「わたしのおぎくぼ」は区民センター閉館中も予定通り発行しました。また、ホームページを活用して企画の中止や延期などを迅速に情報発信でき、コロナ下では重要な情報発信手段となりました。

「わたしのおぎくぼ」以外に、隔年発行の事業報告の発行、三つ折りリーフレット「荻窪地域区民センター協議会のご紹介」の新規制作、「新版 荻窪の記憶」の編集・発刊の支援、さらにホームページの運用と充実など前年度以上の活動を行いました。

② 各種活動のまとめ

	活 動 区 分	回 数
1	総 会（書面表決方式）	1
2	役 員 会	1 2
3	委 員 会	1 1
4	会 計 監 査	2
5	学級講座	1 0
6	集団事業	1
7	協働事業	7
8	広報紙「わたしのおぎくぼ」の発行	6
9	実行委員会	2 0
1 0	地域懇談会	1
1 1	委員研修（館内4）	4
1 2	地域交流会「こみゆに亭カフェ」	1
1 3	七館連絡会（アンケート形式）	3
1 4	部会	1 5 2
1 5	その他の活動	3 4
	合 計	2 6 5

③ 各部報告

[総 務 部]

名 称	開 催 日	内 容
総 会	5月26日(火)	書面により表決
会 計 監 査	4月7日(火) 10月21日(火)	令和元年度 決算監査 令和2年度 上半期監査
委員研修 (館内)	7月28日(火) 9月15日(火) 11月4日(火) 3月23日(火)	南荻窪 宮前の歴史について 講師：松井和男 会議の進め方について 講師：山之内凜太郎 防災の基礎知識とトイレの問題について 講師：菊池顕太郎 地域とのつながりでコモンズとはなにか 講師：茂木愛一郎
近隣清掃 クリーン大作戦	10月6日(火)	荻外荘通りの清掃作業
地域懇談会	10月17日(土)	町会・自治会、学校支援本部、ケア24、 ゆうゆう館、NPO、任意団体など参加
地域交流会 「こみゆに亭カフェ」	10月22日(木)	テーマを設定した自由参加のおしゃべり お茶会
役員会・委員会	毎 月	毎月開催の役員会及び委員会資料の作成、 議事録作成
経 理 業 務	随 時	講座・講演会、お祭りなど費用支出の管理、 予算執行全体の管理等

〔地域交流部〕 集団事業

事業名	開催月日	
<p>第42回 おぎくぼ センター祭</p>	<p>11月15日 (日)</p>	<p>☆「参加し、体験して楽しい1日を!!」をテーマに実施 舞台：オープニング 和太鼓「龍」、日本舞踊「わかくさ 会」、出前講座「消費者センター」、南京玉すだれ 「如月会」、子供落語他「高円寺で落語を愛する 会」、ピアノ演奏「末次節子」、オカリーナ演奏 「明田川荘之」、フラダンス「フラ・ボーアイ・ナ レイ」、石岡&カントリーダンスフレンズ」 展示：荻窪警察署、保健センター、消費者センター、エ ネルギー協会他 体験：缶バッジ作り、似顔絵、アニメづくり、シニアの 体力測定（わがまち1番体操の会）、消火器訓練 （荻窪消防署西荻出張所） 販売：杉並産野菜の直販、低木の苗木配布、生花販売、 協議会の模擬店、包丁砥ぎ、飲物販売 来場者数： 1,320名 /1日 （昨年 2,230名 /2日間） 新型コロナウイルス感染症への対応： 当初6月13日（土）、14日（日）開催予定であつた が、11月に順延し、かつ、1日の開催として行つた。 開催にあたっては、入口、出口を各1ヶ所とし、入口 では検温、手指消毒、入館票の記載、健康チェック、マ スク着用を義務化した。館内への入館定員を320名と し、各部屋の定員を1/2とした。舞台ではステージと客 席の間に遮蔽シートを設置。館内では食べ物を提供せ ず、飲物のみ可とした。また、館内ではゴミ箱をなくし 持ち帰ってもらつた。定期的に一斉換気、消毒を実施す るなど、感染防止対策を出来る限り行つた。 11月末迄に発症の報告はなく無事終了出来た。</p>
<p>第28回 本天沼集会 所まつり</p>	<p>中止</p>	<p>当初10月18日（日）開催予定であつたが、新型コロナ ウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p>

第42回 アート展	中止	当初2月13日（土）、14日（日）開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
--------------	----	--

〔地域交流部〕 協働事業

事業名	開催月日	内容・協働先	参加数
地域ふれあい マチネコンサート	中止	当初開催予定は11月14日（土）午後であった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「荻窪音楽祭実行委員会」は、オンライン形式で実施したが、荻窪地域区民センター協議会は不参加とした。	

[事業企画部]

開催月	講座名：講師名	定員 (名)	単位 (回)	延べ参加 数(人)
4月	正しく学ぼう！ラジオ体操 銚立 和子 氏 ※ コロナのため全館休館により中止	20	2	
5月	アマチュア荻窪寄席 杉並江戸落語研究会 ※ コロナのため全館休館により延期	50	1	
5月	簡単英語でおもてなし 石川 玲子 氏 ※ コロナのため全館休館により中止	20	2	
6月	リズム&ストレッチ 後藤 鈴香 氏 ※ コロナのため延期	30	4	
9月	1. 「おくのほそ道」を旅する 林 誠司 氏	30	4	116
9月19日	2. 野外講座「南荻窪まち歩き」 松井 和男 氏	15	1	15
10月	3. いきいき朗読教室 岡 摂子 氏	20	4	69
10月16日	4. 荻窪のネパール人学校と多文化共生 シエスタ・ブパール・マン 博士	30	1	32
10月19日	5. ◎日本フィル弦楽四重奏団出張コンサート	30	1	29
10月24日	6. 多肉植物のデザートプレート風寄せ植え 吉野 華恵 氏	12	1	12
11・ 12月	7. ◎背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操 協働先：背骨コンディショニング教会 高橋 晃史 氏	20	3	57

11月20日	8. ◎講談出前授業 「耳なし芳一」 神田 山緑 氏 (会場：西田小学校)	6年生	1	1 1 1
11月28日	9. 近年の地震災害に学ぶ 伊藤 和明 氏	30	1	2 6
11月29日	10. ◎秋を楽しむ木の実工作教室 協働先：自然観察の会杉並 山室 京子 氏	12	1	1 0
12月6日	11. ◎防災フォーラム 於：西荻地域区民センター 共催：西荻地域区民センター協議会		1	1 4 5
12月13日	12. ◎荻窪寄席 「字幕を使った落語会」 金原亭 馬玉 氏、翁家 和助 氏 共催：杉並区中途失聴・難聴者の会	30	1	2 5
12月16日	13. 2021年政局を占う 橋詰 邦弘 氏	30	1	2 4
1月13日	14. 「認知症予防は落語から」講演と落語三席 藤原 佳典 氏、江戸落語研究会	30	1	3 5
1月17日	◎さいえんす縁日 協働先：サイエンスホッパーズ、だがしや楽 校サイエンスくらぶ ※コロナによる緊急事態宣言のため中止			
1月24日	15. コロナ後の持続可能な世界に向けて 林 薫 氏	30	1	1 3
1月31日	16. ◎はじめましてクラシック ～オペラへの誘い～ 共催：東京文化会館	30	1	2 5

2月	17. リズム&ストレッチ教室 後藤 鈴香 氏	15 ×2	4	116
2月21日	続・はやぶさ2の挑戦 澤岡 昭氏 ※ コロナによる緊急事態宣言のため中止	30	1	
合計17回 (◎協働事業7回・学級講座10回)			28	860
2年4月～	荻窪の記憶③「南荻窪・宮前100年の歴史」パネル展示 ※ コロナのため下記期間に延期			
2年 6～11月	18. 荻窪の記憶③「南荻窪・宮前100年の歴史」パネル展示 展示：郷土博物館分館（6月～8月） 荻窪地域区民センター（9月～11月）			

[広 報 部]

1. 荻窪地域区民センター協議会の広報紙 「わたしのおぎくぼ」の発行

(1) 発行回数 年 6 回 (A 4 判・4 P・カラー印刷)

※令和 2 年度は協議会事業等の中止が相次ぐ中、広報紙は計画取り発行した

(2) 発行部数 各 10,000 部

① 区立小学校 5 校・中学校 4 校配布用 4,484 部

② 町会・自治会回覧配布用 2,385 部

③ 区及び区関連施設等配布用(交換便) 1,286 部

④ 協議会委員による配布 1,037 部

⑤ 常設設置場所・その他配布用 808 部

合計 10,000 部

(3) 発行日

① No.345 6月・7月号(表紙 新型コロナウイルス感染症対策) 5月26日発行

② No.346 8月・9月号(表紙 南荻窪・宮前パネル展示) 7月28日発行

③ No.347 10月・11月号(表紙 おぎくぼセンター祭) 9月29日発行

④ No.348 12月・1月号(表紙 さいえんす縁日・アート展作品募集)

※サイエンス縁日・アート展とも中止 11月24日発行

⑤ No.349 2月・3月号(表紙「新版 荻窪の記憶」発刊) 1月26日発行

⑥ No.350 4月・5月号(表紙 会長挨拶・新年度の行事) 3月16日発行

(4) 編集内容

① 総会(書面表決)・地域懇談会など協議会主要行事の報告

② 事業(イベント・講座・講演等)の案内・募集、及び開催報告

③ 連載ものの掲載(「地域の小中学校紹介」、「荻窪の記憶」こぼれ話)

2. 「わたしのおぎくぼ」以外の発行情

●活動報告書(隔年誌)21号 ~平成31年4月~令和3年3月~ 発行 1,000 冊

●三つ折りリーフレット「荻窪地域区民センター協議会のご紹介」制作 2,000 部

●「新版 荻窪の記憶」の編集・発刊…荻窪の記憶プロジェクトの支援 5,000 冊

3. ホームページの運用

- ・ 「お知らせ」の掲載件数が減少 令和2年度は40件(令和元年度は51件)
- ・ 著作権対策のためHP全掲載物をチェックし、安全確認の上、掲載を継続した(安全が確認できないものは、内部記録として残し、HP上から消去した)
- ・ メールでの講座申し込みができるようHPに新コンテンツの構築を検討(当選者の無断欠席対策と個人情報保護のためのSSL認証化がポイント)

4. その他 広報部員が協議会の全ての催しを取材し、写真撮影を行った

広報紙・HP制作時の原稿作成・画像添付に活用

第 3 号 議 案

令和 2 年度 事業会計収支決算報告

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで)

収入決算額	8,786,798
支出決算額	7,888,330
差引残高	898,468

区への返還金	348,004
差引翌年度繰越金	550,464

I. 収 入

(単位 円)

区分	予算額	※コロナによる返還	返還後 予算額	決算額	差引差額	差額 (うち補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 区補助金	9,000,000	△1,100,000	7,900,000	7,900,000	0	0	0
①委員活動費	3,856,500	△690,000	3,166,500	3,166,500	0	0	0
②事業費	4,943,500	△410,000	4,533,500	4,533,500	0	0	0
③事務局運営費	200,000	0	200,000	200,000	0	0	0
2. 諸収入	442,000	0	442,000	141,004	△300,996	0	△300,996
①事業参加費 収入	174,000	0	174,000	75,600	△98,400	0	△98,400
②自動販売機 手数料収入	5,000	0	5,000	25,324	20,324	0	20,324
③模擬店収入	260,000	0	260,000	25,550	△234,450	0	△234,450
④雑収入	3,000	0	3,000	14,530	11,530	0	11,530
3. 前期繰越金	745,794	0	745,794	745,794	0	0	0
収入合計	10,187,794	△1,100,000	9,087,794	8,786,798	△300,996	0	△300,996

※区補助金については、新型コロナウイルス感染症に関する施策に充当するため、執行不可などが生じるものについて、当該金額(1,100,000 円)を令和 2 年 10 月に返還した。

Ⅱ. 支出

(単位 円)

	予算額	コロナによる返還	返還後 予算額	決算額	差引差額	差額 (うち区 補助金)	差額 (うち自主 財源)
1. 委員活動費	3,856,500	△690,000	3,166,500	2,950,500	216,000	216,000	0
2. 事業費	5,451,794	△410,000	5,041,794	4,597,507	444,287	132,004	312,283
①学級講座費	521,000	△120,000	401,000	350,952	50,048	15,048	35,000
②集団事業費	1,410,000	△250,000	1,160,000	1,117,435	42,565	18,683	23,882
③地域活動事業費	40,000	△40,000	0	0	0	0	0
④懇談会費	230,000	0	230,000	67,659	162,341	2,341	160,000
⑤広報活動費	1,395,000	0	1,395,000	1,373,200	21,800	1,800	20,000
⑥総会費	40,000	0	40,000	30,940	9,060	0	9,060
⑦保険料	80,000	0	80,000	69,810	10,190	6,390	3,800
⑧事務費	405,794	0	405,794	389,253	16,541	0	16,541
⑨交通・通信費	40,000	0	40,000	29,556	10,444	10,444	0
⑩渉外費	50,000	0	50,000	9,556	40,444	15,444	25,000
⑪協働事業費	1,240,000	0	1,240,000	1,159,146	80,854	61,854	19,000
3. 事務局運営費	250,000	0	250,000	223,343	26,657	0	26,657
4. 委員研修費	100,000	0	100,000	40,000	60,000	0	60,000
5. 諸支出金	329,500	0	329,500	76,980	252,520	0	252,520
6. 予備費	200,000	0	200,000	0	200,000	0	200,000
支出合計	10,187,794	△1,100,000	9,087,794	7,888,330	1,198,964	348,004	851,460

Ⅲ. 残高(収入-支出)	0	0	0	898,468	898,468	348,004	550,464
--------------	---	---	---	---------	---------	---------	---------

(区への返還金)(翌年度繰越金)

貸借対照表

令和3年3月31日現在 (単位 円)


資産の部		負債の部	
普通預金	898,468	区への返還金	348,004
		負債合計	348,004
		正味財産の部	
		前期繰越金	745,794
		当期収支差額	△195,330
		正味財産合計	550,464
資産合計	898,468	負債・正味財産 合計	898,468

第 3 号 議 案

会 計 監 査 報 告

令和3年4月6日(火)

荻窪地域区民センター協議会
会 長 茂木 愛一郎 様

会計監事 加藤 俊也 

会計監事 伊藤 佳江 

荻窪地域区民センター協議会監査規則に基づき、令和2年度 収支決算について関係帳簿・起票書類を監査したところ、いずれも財務規則に準拠し、適正、正確に処理されていることを認めます。

以 上

第 4 号 議 案

令和 3 年度 事業計画 (案)

① 概 要

前年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大のなか、感染リスク回避を第一に考え、慎重な事業展開とならざるを得ませんでした。新年度もそのリスクを抱えながら注意深い体制で臨まざるを得ない状況にあります。前年度の経験を活かし、安全な事業運営に努めて参ります。

本年も近年の協議会の活動方針に沿い、下記とします。

「地域における『ふれあいと交流』を増進させ、さらに地域課題を解決するため地域で活動する様々な活動団体のネットワーク化を図り、地域の活性化につなげる。」

なお、新型コロナウイルス感染症対策の状況によっては、必要な計画の見直しを行います。

一方で新年度には、協議会という組織がこれらのミッションを遂行するに際し、効率的な活動となっているかどうかを自己チェックして進めていこうと考えています。ミッション遂行とそれを行う協議会委員や組織全体の負担とのバランスをとることも留意点となります。この背景には協議会委員数の減少と高齢化という事実があることを無視できないからです。なお、年間を通して、適材となる委員増員の努力は続けます。

そのうえで意欲的に取り組みたい新年度の事業をご紹介します。前年度までの事業の継続があるとともに、内容を充実させた7つの事業領域で活動を行います。

1. 地域のネットワークづくり:

「地域懇談会」、「防災フォーラム」は、そこでこそ取り上げられるべき重要なテーマを選び、町会など地域団体と一緒に学び、議論し、連携を深める場として実施します。

2年前に始めた地域交流会「こみゆに亭」は、食を共に作り楽しむことを通じコミュニティの醸成に少しでも役に立とうというプロジェクトですが、3年目に入る新年度は一層の工夫をして実施していきます。なお、徒歩圏内の地域住民が気楽に立ち寄り、おしゃべりし、いこい、情報交換などをする場として「こみゆに亭カフェ」のような企画も継続します。

2. 地域発見の機会をつくる:

ここ数年に展開してきた「荻窪の記憶プロジェクト」の対象地域を、新年度は清水・今川・桃井として、われわれの住む地域の歴史、文化について調査を行い、その結果を展示や冊子な

どで公開します。また、協議会発足40周年の記念事業として始まった「道の愛称プロジェクト」では、実現した「荻外荘通り」の認知度を高め定着・普及させる取り組みを継続します。

3. 地域を盛り上げる「まつり」活動:

従来からの活動を踏まえ、本年度は特に子供たちの遊びと学びにスポットを当て、親子が区民センターに集いたくなる活動に重点を置きます。下記6. の児童向け企画にも生かします。

地域の皆さんとのふれあいと交流の場となる「おぎくぼセンター祭」、「本天沼集会所まつり」、「アート展」の3大イベントが中心となりますが、より内容的な充実を目指します。

4. 芸術・芸能鑑賞:

「講談鑑賞会」、地域の小学生に伝統芸能の講談を紹介する「講談出前授業」、中途失聴・難聴者の皆さんにも楽しんでもらえる字幕付き「荻窪寄席」、荻窪音楽祭と連動した「地域ふれあいコンサート」など、日本文化継承の視点から様々な企画を提供します。

5. 多彩な講座:

様々な教養講座によって地域の方々の知的向上心を刺激し、生涯学習の手助けとなるような企画を提供します。また、健康増進に結びつく「きっかけ(第一歩)」となるように各種の健康講座を開催していきます。

6. 児童と若い世代向け企画:

未就学児・小学生の親子連れを主な対象とした「さいえんす縁日」、井の頭公園を会場にした「野外講座」、上記1で述べた「こみゆに亭」などを行い、子育て世代とその子どもたちを通じて地域の活性化を目指します。

7. 広報:

隔月発行の広報紙「わたしのおぎくぼ」の充実を図り、区関連施設、地域内の区立小中学校9校の全児童・生徒、町会などへの送付、また委員による諸施設への配布等を通じて、地域に役立つ情報を提供します。またホームページの活用によるタイムリーな情報発信、応募受付システムの導入を目指します。

②各部計画（案）

部門	事業・活動	項目	回数	開催予定・単位数
総務部	総務活動	定期総会	1回	4月
		会計監査	2回	4月・10月
		役員会・委員会	24回	毎月
		地域懇談会	1回	10月
		館内研修	3回	随時
		館外研修	1回	9月
		地域交流会こみゆに亭	2回	9月・2月
		地域交流会こみゆに亭カフェ	2回	7月・11月
		近隣清掃クリーン大作戦	2回	5月・11月
		総務・会計業務全般		随時
地域交流部	集団事業	アート展	1回	6月
		おぎくぼセンター祭	1回	10月
		本天沼集会所まつり	1回	令和4年2月
	協働事業	地域ふれあいコンサート	1回	11月
		あそび市（松溪中学校）	1回	10月
		スマイルマーケット（天沼中学校）	1回	11月
事業企画部 （センターカレッジ部を含む）	講座・講演	教養・文学講座	7回	14単位
		医療・健康・スポーツ講座	5回	18単位
		地域の歴史講座	2回	2単位
		アート関連・その他講座	4回	13単位
	協働事業	講談鑑賞会、講談出前授業、荻窪寄席	11回	20単位
		ラジオ体操、健康講座、野外講座		
		防災イベント、科学イベント		
		「荻窪の記憶」プロジェクト		
		「道の愛称」プロジェクト		
		多文化共生（国際交流）イベント		
広報部	広報活動	広報紙「わたしのおぎくぼ」発行	6回	奇数月発行
		ホームページの運用	随時	受講申込システムの導入
		「荻窪の記憶」プロジェクト		パネル展示
		（事業企画部に同じ。本年度は清水、今川、桃井地区）		（センター、郷土博物館分館）
共通活動	七館連絡会 部会 実行委員会		6回	各部1回～2回
			196回	4部×49回
			25回	5実行委員会、各5回

第 5 号 議 案

令和 3 年度 収支予算 (案)

I. 収 入

(単位 円)

区分	令和 3 年度 予算額	令和 3 年度 予算額 (うち補助金)	令和 3 年度 予算額 (うち自主財源)	令和 2 年度 予算額	差額
1. 区補助金	8,759,000	8,759,000	0	9,000,000	△241,000
①委員活動費	3,924,000	3,924,000	0	3,856,500	67,500
②事業費	4,585,000	4,585,000	0	4,943,500	△358,500
③事務局運営費	250,000	250,000	0	200,000	50,000
2. 諸収入	437,000	0	437,000	442,000	△5,000
①事業参加費収入	174,000	0	174,000	174,000	0
②自動販売機手数料収入	0	0	0	5,000	△5,000
③模擬店収入	260,000	0	260,000	260,000	0
④雑収入	3,000	0	3,000	3,000	0
3. 繰越金	550,464	0	550,464	745,794	△ 195,330
合計	9,746,464	8,759,000	987,464	10,187,794	△441,330

Ⅱ. 支 出

(単位 円)

区分	令和3年度 予算額	令和3年度 予算額 (うち補助金)	令和3年度 予算額 (うち自主財源)	令和2年度 予算額	差額
1. 委員活動費	3,924,000	3,924,000	0	3,856,500	67,500
2. 事業費	5,082,000	4,585,000	497,000	5,451,794	△ 369,794
①学級講座費	521,000	486,000	35,000	521,000	0
②集団事業費	1,360,000	1,330,000	30,000	1,410,000	△50,000
③地域活動事業費	20,000	20,000	0	40,000	△20,000
④懇談会費	230,000	70,000	160,000	230,000	0
⑤広報活動費	1,287,000	1,267,000	20,000	1,395,000	△108,000
⑥総会費	40,000	20,000	20,000	40,000	0
⑦保険料	80,000	63,000	17,000	80,000	0
⑧事務費	444,000	416,000	28,000	405,794	38,206
⑨交通・通信費	40,000	40,000	0	40,000	0
⑩渉外費	30,000	10,000	20,000	50,000	△20,000
⑪協働事業費	1,030,000	863,000	167,000	1,240,000	△210,000
3. 事務局運営費	300,000	250,000	50,000	250,000	50,000
4. 委員研修費	100,000	0	100,000	100,000	0
5. 諸支出金	140,464	0	140,464	329,500	△189,036
6. 予備費	200,000	0	200,000	200,000	0
合計	9,746,464	8,759,000	987,464	10,187,794	△ 441,330

(参考資料)

委員名簿

令和3年4月21日現在

役職・所属		氏名	期	住所	推薦団体
会長		茂木 愛一郎	22期	天 沼	町会
副会長		萬 靖義	22期	荻 窪	
		恵羅 博	22期	荻 窪	町会
会計監事 (2名)		伊藤 佳江	22期	荻 窪	東京税理士会荻窪支部
		桑山 務	23期	天 沼	東京税理士会荻窪支部
(経理担当) 総務部 (3名)	◎	大矢 正男	22期	荻 窪	町会
	○	船津 まさ子	22期	宮 前	町会
		杉原 幸一郎	23期	南荻窪	
地域交流部 (8名)	◎	萬 靖義	22期	荻 窪	
		影山 健次	22期	宮 前	宮前二丁目防災会
		杉浦 和子	22期	荻 窪	
		高橋 昭浩	22期	荻 窪	
		上田 昌子	23期	清 水	NPO法人 すぎなみ栄養と食の会
		香取 真実	23期	本天沼	
		東海林 明	23期	荻 窪	
		若井 幸子	23期	南荻窪	
事業企画部 (6名) (センターカレッジ部を兼務)	◎	恵羅 博	22期	荻 窪	町会
	○	本田 良夫	22期	天 沼	一般社団法人 すぎなみ文化協会
		染谷 貞夫	21期	天 沼	
		小野 美和子	23期	南荻窪	民生児童委員協議会
		熊谷 伸成	23期	宮 前	
		堀川 秀夫	23期	天 沼	
広報部 (3名)	◎	横尾 耕一	21期	荻 窪	町会
		松崎 茂一郎	21期	宮 前	宮前二丁目防災会
		西村 淳一	23期	荻 窪	一般社団法人 すぎなみ文化協会
23名	◎印：部長 ○印：副部長 21期：3名、22期：10名、23期：10名				